

駐トリニダード・トバゴ大使が来酒！ ～カリブ海クルーズの魅力語る～

来る4月28日、東北公益文科大学の公益教養プログラムとして、「FORUM 21『世界から山形庄内を見つめる』」が開催されます。

フォーラムでは、国土交通省東北地方整備局長などを歴任し、現在、駐トリニダード・トバゴ大使の要職にある岡田光彦氏を講師としてお招きし、「カリブ海の魅力とクルーズ」と題してご講演をいただきます。

港湾行政の知見を交えながら、クルーズ船が行き交う中南米カリブ海での大使としての経験や山形庄内への思いを語っていただきます。

記

- 日時：平成29年4月28日（金） 14：00～15：45
- 場所：東北公益文科大学 酒田キャンパス 教育研究棟 301教室
（酒田市飯森山三丁目5番地の1）
- 内容：公益教養プログラムFORUM21「世界から山形庄内を見つめる」
・講演：「カリブ海の魅力とクルーズ」
講師：駐トリニダード・トバゴ大使 岡田光彦 氏
・トークセッション（会場参加者を交えての交流）
- 主催：東北公益文科大学・庄内開発協議会
- 後援：国土交通省東北地方整備局酒田港湾事務所他

※フォーラムの参加申込については、東北公益文科大学までお願いいたします
（別紙参照）

〈発表記者会：酒田記者クラブ〉

【問い合わせ先】国土交通省 東北地方整備局 酒田港湾事務所

電話：0234（33）6314

企画調整課 工藤（くどう）・土門（どもん）

「世界から山形庄内を見つめる」

日本政府は、「世界が訪れたい日本」を目指し観光ビジョンを策定し、国を挙げて観光先進国に向けた施策を展開している。

そのなかの視点の一つに「観光資源の魅力を高め地方創生の礎に」が掲げられており、東北の観光振興については「東北6県の外国人宿泊者数を2020年150万人泊（2015年の3倍）に」する目標が掲げられており、施策展開のために東北観光復興対策交付金を新設して観光資源の磨き上げを推し進めている。

観光ビジョンではクルーズ船受入の拡充についても施策を強化しており、折しも、今年8月2日には初めての外航クルーズ船「コスタ ネオロマンチカ」が酒田港に寄港することになっているが、酒田港の施設整備と共に、関係機関による観光客受け入れ態勢の準備が進められている。

また庄内空港においても、昨年は利用実績が前年比4.4%増で8年ぶりに37万を突破し、今年の夏ダイヤでは機材の大型化が図られ座席数が大幅に増加し、さらなる利用拡大が見込まれている。

ここで、空港・港湾行政に精通され、現在はクルーズ船が行き交う中南米カリブ海にある駐トリニダード・トバゴ共和国の大使を務められている岡田氏を迎え、世界から庄内を見つめていただく。



【内 容】

*日 時：平成29年 4月28日（金） 14:00 ～ 15:45

*会 場：東北公益文科大学 酒田キャンパス 教育研究棟 301教室（大教室）

*内 容

- ・講 演「カリブ海の魅力とクルーズ」 14:10～15:10
- ・トークセッション（会場参加者を交えての交流） 15:15～15:40

講 師： 岡田 光彦 氏（駐トリニダード・トバゴ大使）

【プロフィール】

東京都生まれ。77年東大工学部卒、運輸省（現国土交通省）入省。96～98年山形県空港港湾課長、02年国交省航空局建設国際業務室長、05年海事局国内旅客課長、06年鉄道運輸機構鉄道助成部長、08年東北地方整備局長などを歴任し退官。国際臨海開発研究センター(OCDI)理事長を務め、15年6月現職就任。

*対 象：どなたでも（入場無料、ただしFAXまたはメールにて4月24日(月)まで事前に申し込み下さい）

*主 催：東北公益文科大学・庄内開発協議会

*後 援（予定）：国土交通省東北地方整備局酒田港湾事務所、山形県港湾協会、酒田港湾振興会、庄内空港利用振興協議会、庄内観光コンベンション協会

【参加申込み】（送り先 FAX：0234-31-2082）E-mail: coc - staff@koeki - u.ac.jp

お名前／ 年齢／ ご職業／

お電話番号（連絡先）／ 問合せ先／0234-41-1115（池田）

※ご記入いただいた個人情報は、このフォーラムの連絡のみ使用させていただきます。メールでのお申込みは、上記の内容を記載ください。